

1280 | 工芸工業デザイン基礎 II

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

田中克明教授、牧野良三教授、十時啓悦教授、鈴木洋教授、西川聡教授、鈴木純子准教授、渡辺衆講師、谷浩二講師、山本博一講師、富谷智講師、萩原千春講師、高橋勇一郎講師、中島良弘講師

授業の概要と目標

この科目は、工芸工業デザイン基礎 I に引き続き学科共通の造形専門科目となっている。学科の必修科目ではあるが、工芸工業デザイン基礎 I と同様にスペースデザインコースと生活環境デザインコースプロダクトデザイン系は同じ題材に取り組み、生活環境デザインコースクラフトデザイン系各クラスは各素材別課題に取り組む。

※なお、生活環境デザインコースクラフトデザイン系の金工クラス、木工クラスについては、平成 28 年 4 月以降の入学生は選択不可。平成 27 年 10 月以前の入学生については選択可能だが、当該クラスの開講は平成 30 年度までとなるので注意すること。

課題の概要

スペースデザインコースと生活環境デザインコースプロダクトデザイン系はインターフェイスをテーマに具体的な機器や空間を事例に研究を深めデザインの提案を行う。

生活環境デザインコースクラフトデザイン系は素材別にそれぞれの課題とする。

〈スペースデザインコース〉

面接授業では、空間のインターフェイスをテーマとした空間と人の出会いの場について考察する。授業の課題は、エキシビジョン（見本市）の企業のブースデザインの設計計画を実習する。

〈生活環境デザインコース〉

プロダクトデザイン系

面接授業において、機器・サービスデザインをユーザーインターフェイスの観点から調査分析、市場調査を行う。使用シーンにそって問題点や顧客要求を明確にする。その上でラフモデルによるデザイン立案と操作の評価を実施する。通信授業では面接授業で作成した提案を修正し再提案する。対象は「音楽・音声放送を楽しむ機器（ラジオ）」で、web 等の技術を活用することも可である。

クラフトデザイン系

・テキスタイルクラス

面接授業において、触覚のビジュアル化を体得する為のシルクスクリーン捺染の実習を行い、リピート効果およびペーパープランにおける表現技法を学習する。

通信授業では、面接授業で実習したパターンの連続性による色彩効果を基に、色彩の面積比を考え、ストライプの分析研究を行う。

・陶磁クラス

通信授業において、ロクロ成形による製品の調査をしてみとめる。それを基に飯碗を制作するためのアイデアスケッチをする。

面接授業では、アイデアスケッチを基にさらにデザインに検討を加え、ロクロ成形による飯碗を制作する。

・金工クラス ※平成 28 年 4 月以降の入学生は選択不可

面接授業において、鑄造によるペーパーウエイトの制作を行う。（平成 27 年度以前に「金工基礎実習 II」または「工芸 IV（金工実習）」の受講者は鑄造によるデスクウェアの制作）。通信授業では鑄物製品の市場調査及びペーパープランを行う。

・木工クラス ※平成 28 年 4 月以降の入学生は選択不可

漆塗り仕上げによるサービストレーの制作

・通信授業課題では、木製食器及び漆塗りの調査・研究を行いレポートに纏める。

・面接授業では、サービストレーを制作し、漆塗り仕上げを行い、漆塗りの基礎的な技術を習得する。

* 課題については学習指導書『工芸工業デザイン基礎 I・II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

生活環境デザインコース
クラフトデザイン系
陶磁クラス、木工クラス

通信授業



面接授業

スペースデザインコース
生活環境デザインコース
クラフトデザイン系
テキスタイルクラス
金工クラス

面接授業



通信授業

プロダクトデザイン系

予習



面接授業



通信授業

成績評価の方法

面接授業と通信授業の総合評価。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 工芸工業デザイン基礎Ⅰの単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備考] 工芸工業デザイン学科各コース3年次必修科目。

教材等

教科書：横溝健志、田中克明編『生活環境デザイン』（武蔵野美術大学出版局 2003年）
小石新八 監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003年）
横溝健志、小石新八 編『ドローイング・モデリング』（武蔵野美術大学出版局 2002年）
横溝健志 監修『工芸』（武蔵野美術大学出版局 2002年）
田中秀穂 監修『テキスタイル 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2007年）
小松誠 監修『陶磁 発想と手法』（武蔵野美術大学出版局 2009年）
十時啓悦 監修『木工 樹をデザインする』（武蔵野美術大学出版局 2009年）
学習指導書：『工芸工業デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

[面接授業]

各コース、クラスにわかれて面接授業の出題及び説明が行われる。

スペースデザインコース、生活環境デザインコースプロダクトデザイン系ではインターフェイスをテーマに課題に取り組み最終日に発表、講評となる。

生活環境デザインコースクラフトデザイン系素材別各クラスではそれぞれのクラスで設定された課題で実材による作品制作を行い、最終日講評となる。

※生活環境デザインコースプロダクトデザイン系は学習指導書をよく確認し、予習を行い、事前調査表を初日に持参すること。

[通信授業]

●生活環境デザインコースクラフトデザイン系陶磁クラス・木工クラス

学習指導書をよく確認し、制作すること。課題は面接授業初日に必ず持参すること。

●スペースデザインコース、生活環境デザインコースプロダクトデザイン系、クラフトデザイン系テキスタイルクラス・金工クラス

面接授業をふまえ、それぞれのコース、クラスごとにデザイン作業を完成させ提出する。

詳細は面接授業最終日に説明する。